



<本社社屋>

- 本社所在地：京都府京都市北区紫野宮西町16番地
- 事業概要：ブランドネーム・下げ札・シール・パッケージ、RFID製品・システム
- 常時使用する従業員：170名
(2026年9月時点)
- 現在の売上高：47.7億円
(2026年6月期)
- 法人番号：2130001004761
- Web： <https://www.kobaori.co.jp>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
小林 慎吾

ブランドの価値を守り、高める

私たちは、ブランド価値を正確に伝え、守り、高めるブランド包装企業です。今後は製品ごとにデジタルIDを付与し、製造・物流・販売・真贋認証をデータでつなぎます。国内のものづくり基盤、グループ各社の印刷・加工技術、海外供給網を融合し、顧客の省人化、品質向上、トレーサビリティ確保、模倣品対策に貢献します。社員と協力会社の成長環境を整え、地域に雇用と技術を蓄積し、2037年に売上高100億円を達成します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- ・ 2037年に売上高100億円を達成する。
- ・ 直近売上高47.7億円から100億円へ、約2.1倍の成長を目指す。
- ・ 年平均成長率は約6.4%。既存事業の深耕とRFID関連の高付加価値事業を両輪とする。

課題

- ・ 国内のRFID加工・検証・開発場所と生産能力の確保
- ・ タグの価格競争から、高付加価値提案へ転換
- ・ 新工場を賃料収入だけでなく、自社の売上・付加価値向上
- ・ 出版流通向けRFID需要に対応する生産余力の確保
- ・ IP商品、出版、物流、製造、資産管理へ展開
- ・ 開発・運用人材と協業先を確保し、賃上げ、投資回収、財務健全性を両立

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

RFID・NFC活用事業の拠点を集約するため、京都市内に新工場を設立、以下のRFID・NFCの事業拡大を図る。

- ・ IP分野：真贋認証、物流追跡
- ・ 出版流通分野：書籍流通追跡、再販管理
- ・ 製造物流分野：棚卸、備品、工具管理のソリューション化
- ・ アパレル・生活関連：RFID・NFCを活用した製品情報連携によるサプライチェーンの実現。

実施体制

- ① 社長直轄で投資・営業・開発を推進
- ② 経営会議で売上・利益・付加価値・賃金・開発を管理
- ③ 当社が不動産、RFID技術、顧客提案を主導

売上高100億円実現のロードマップと実施体制

Phase 1 | 2026-2028

48 → 55億円

新京都工場の建設・立上げ準備
RFID PoCと出版向け加工を拡大

Phase 2 | 2029-2032

55 → 75億円

タグ・機器・システムの一体販売
保守・データ運用サービスを収益化

Phase 3 | 2033-2037

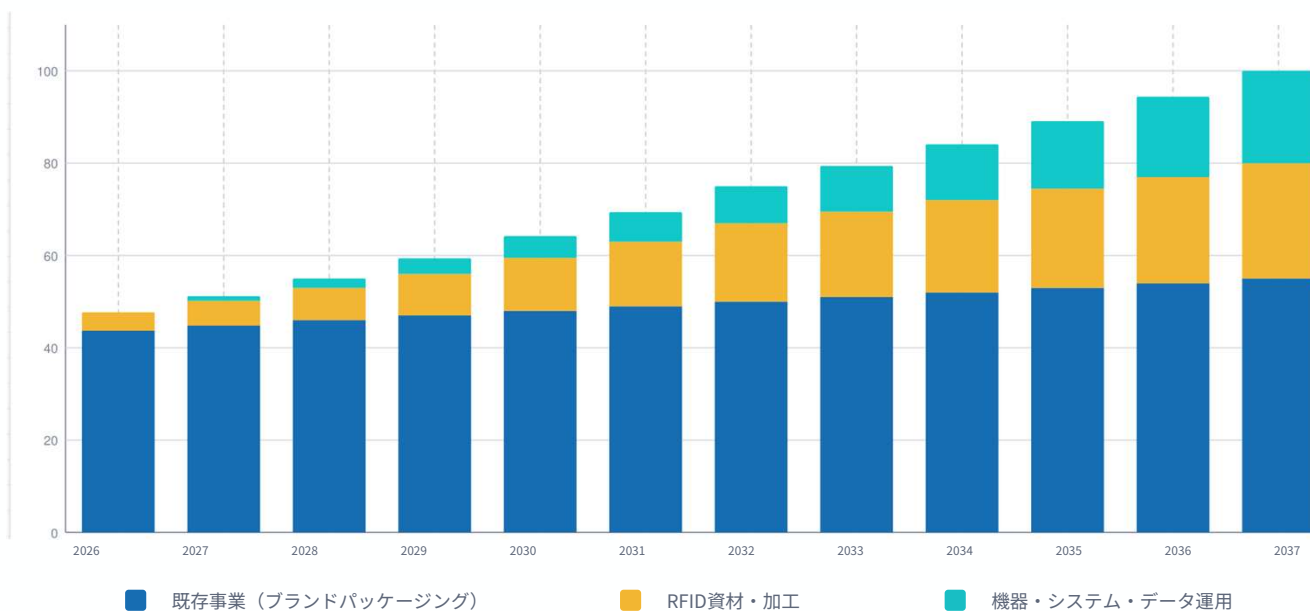
75 → 100億円

DPP・真贋認証・製品IDを展開
海外・提携・M&Aで市場を拡張

新京都工場の意義

RFID・NFC事業でトップ企業となるために、企画業＋製造業＋卸売業の垂直統合を実現するために必須となるインフラ構築投資

売上高100億円への成長計画（億円）



※事業別内訳は、提出内容案の重点施策に基づく計画配分。

実施体制

コバオリ株式会社

不動産・RFID技術・顧客提案
資材／機器／システム販売

外部パートナー

RFID機器メーカー・システム会社
物流・認証・データ連携先

社長直轄でKPIを月次管理し、経営会議で投資・売上・付加価値・賃金・開発進捗を確認